

有害プランクトン情報 (平成27年度 - No.11)

千葉県水産総合研究センター
東京湾漁業研究所
千葉県農林水産技術会議

水産総合研究センターは東京湾でプランクトンの調査を行っています。プランクトンの種類や密度によっては、魚類や二枚貝などに影響を与えることがありますので、毎月1回「有害プランクトン情報」を発行して出現状況をお知らせします。

【プランクトンの出現状況】

- 調査日 2月 第1回 : 内湾 (8地点) 2/3 内房 (7地点) 2/1
- 2月 第2回 : 内湾 (8地点) 2/18 内房 (7地点) 2/16
- シャットネラ属及びシュードシャットネラ属の有害プランクトンは、すべての調査点で確認されませんでした。
- ヘテロシグマ属の有害プランクトンは、すべての調査点で確認されませんでした。
- カレニア属の有害プランクトンは、すべての調査点で確認されませんでした。

※ シャットネラ属プランクトンは1細胞/1ml, ヘテロシグマ属プランクトンは1000細胞/1ml, カレニア属プランクトンは100細胞/1mlの密度を超えた場合に注意報を発行します。

○ 各海域で見られたプランクトンの優占種

2/1, 3	内湾及び 内房北部	ケイ藻	<i>Skeletonema</i> sp.	(図1)
			(スケレトネマの一種 直径:0.01mm)	
	内房南部	ケイ藻	<i>Thalassiosira diporocyclus</i>	(図2)
			(タラシオシラの一種 直径:0.01~0.02mm)	
2/18	内湾	ケイ藻	<i>Skeletonema</i> sp.	(図1)
			(スケレトネマの一種 直径:0.01mm)	
2/16	内房	ケイ藻	<i>Pseudo-nitzschia</i> sp.	(図3)
			(シュードニツチアの一種 長さ:0.04~0.07mm)	



図1

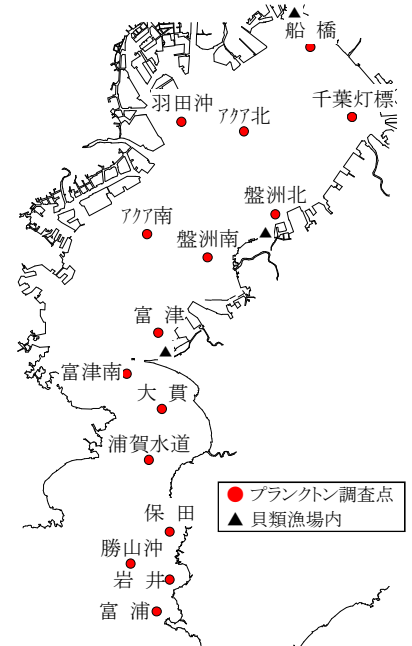


図2



図3

調査地点



【貝毒プランクトンの状況】

- 調査日 沖 合 : 内湾 (8地点) 2/3
- 麻痺性貝毒が発生する原因となるプランクトンは、すべての調査点で確認されませんでした。
- 下痢性貝毒が発生する原因となるプランクトンは、すべての調査点で確認されませんでした。

連絡先：千葉県水産総合研究センター 東京湾漁業研究所

〒 293-0042 富津市小久保3091

TEL 0439-65-3071

E-mail futtsu-sokuho@pref.chiba.lg.jp